

第16回 放送番組審議会議事録

株式会社シーエス・ワンテン

株式会社テレビ朝日

1. 開催年月日 平成27年3月13日 金曜 午前10時30分～12時00分

2. 開催場所 株式会社テレビ朝日本社8階 特別会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 7名

出席委員の氏名

委員長 池井 優 (慶應義塾大学名誉教授)

委員 石田 則明 (無線システム研究所 代表)

委員 藤田 興彦 ((公財) 児童育成協会 理事長)

委員 戸張 捷 (㈱ランダムアソシエイツ 代表取締役)

委員 高木 美也子 (日本大学総合科学研究所 教授)

委員 元村 直樹 (早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 客員准教授)

委員 丹羽 美之 (東京大学大学院 准教授)

※欠席委員

委員 黒鉄 ヒロシ (漫 画 家)

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長

今堀 元則

業務推進本部長

渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日

総合編成局編成戦略部長

赤津 一彦

戦略担当部長

奥村 彰浩

C S 事業部長

村上 浩一

C S 編成担当部長

丹野 裕一

スポーツ局 スポーツセンター

井上 亮

4. 議 題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」の番組について

5. 議事の概要

・テレビ朝日総合編成局CS事業部事業報告・編成説明

番組審議

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」課題番組の審議

『アイドルお宝くじLIVE #8』

「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」課題番組の審議

『レジェンド青木功 プロ生活50周年記念SP～ゴルフ対決完全版～』

6. 審議内容

①シーエス・ワンテンの事業報告

- 110度CS放送の加入状況について、全体の加入者が伸び悩んでいる。特にスカパー！の基幹商品、月額3,672円で45チャンネルを視聴できる「基本パック」の加入者が停滞している。その対策として、月額1,980円で5チャンネル視聴できる「セレクト5」という商品を発売し、順調に加入者を増やしている。
- スポーツ系のチャンネル、「スカイ・A sports+」「GAORA SPORTS」「FOX スポーツ&エンターテイメント」の3チャンネルが新たに加わり、新規加入の獲得を目指している。
- セレクト5の告知は、当初はCMを放送、その後は雑誌、インターネット、また秋のキャンペーンというかたちで再度CMを流した。視聴者センターとも連携している。

②テレビ朝日CS事業部の事業報告

- 「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」は2月末現在、加入者世帯487万件。
- 「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」は2月末現在、加入者世帯626万件。
- CSでのプロ野球は、特定の球団・特定の時間帯に特化せず、全団体、全試合完全生中継を行っている。

③テレビ朝日編成戦略部の報告

4月編成について

- チャンネル1は、「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」「相棒」「科捜研の女」「ドクターX」などのコンテンツが好評。CSオリジナルコンテンツであるバラエティ「水曜どうでしょう」など、非常に結果を残している編成を残した。18時台には今まで月～金バラエティが入っていたが、アニメの力が強いので変更した。

- チャンネル 2 は 45 チャンネル中 36 位ということで、視聴者に選ばれにくいチャンネルになっているが、4 月よりチャンネル 1 のノウハウを活かすかたちで、名作ドラマと題して時代劇、サスペンスを編成。旅情報番組は地上波でも人気コンテンツなので、帯編成。ゴールデンタイムも、目玉になるようなコンテンツを加入者に認識してもらうために、月曜日 19 時は情報番組、火曜日はドラマ、水曜日はサスペンスと変更した。
- スポーツ番組は、生中継を優先して編成。

問題点等

- プロ野球中継の最大の難点である、試合終了時刻が読めないという点については、CS 加入者はコンテンツに対して見たいという意識を持っているので、完全生放送ということで常に延長対応をして試合終了まで放送。
- 少子化で世帯数が減少することにより、加入世帯数も減少する可能性もあるが、プロモーションや価格値下げなどにより、選べる 5 チャンネルに選択される商品に特化して、なんとか加入者減少を止めたいと模索中。
- オンデマンドで、いつでもどこでも見ることができる新サービスと差別化をしたうえで、技術投入を検討していく段階に入っている。

◆テレ朝チャンネル 1 ドラマ・バラエティ・アニメ『アイドルお宝くじ L I V E #8』 番組審議◆

番組概要：

昨年 11 月からスタートしたアイドル・サバイバルバラエティ「アイドルお宝くじ L I V E」は、5 メディア（地上波、BS、CS、ネット動画、劇場）連動の新たな試みの番組。毎週 5 組アイドルが生き残りをかけて、必死にライブパフォーマンスを見せて戦うサバイバルライブバトル。ファン 100 名がすべてのアイドルのパフォーマンスを見て採点（1 位 10 点、2 位 8 点、3 位 5 点）し、上位 3 組が次回の出場権を得ることができる。また、毎回の MVP アイドル（個人）も同時に選び、約 2 分のオリジナル VTR が BS 朝日にて放送。CS テレ朝チャンネルでは、ファンのために地上波 BS 波では放送できていない LIVE パフォーマンスの完全版にして放送。

今回の課題はゲーム会社の CM 出演権をかけたバトルが繰り広げられる特別編。合計得点 1 位のグループのみが権利を獲得。

<出演者> # 8

アップアップガールズ（仮）
THE ポッシボー
アリスインアリス
C h u - Z
アイドルネッサンス
マーティ・フリードマン（ナレーター）

〈委員意見〉

- 上位のアイドルは上手だと思うが、フレッシュさがなく、場馴れしていることが気になった。
- スポンサーが3位のアイドルを良いと言ったのは、1位・2位は上手いけれども初々しさを感じられないところにあると思う。初々しさのようなアイドル特有の魅力は、3位のアイドルのほうが持っているはずだ。
- アイドルは男性ファンが多いが、アイドルに憧れる女の子もいるし、CMは性別関係なく受けないといけないので、女性にも投票権があってもよいと思う。
- スポンサー、プロダクションをからませた番組で、アイドルの売り出しを兼ねていて、CSならではの番組だと思った。
- ほかのアイドルとの差別化を図っていて面白かった。
- THE ポッシボーは歌も上手く、熱っぽいところがよいと思った。
- スポンサーは、どういうところが面白くて、アイドルネッサンスに魅かれたのか、会場にいる人はどのように楽しんでいるかが分かれば、間口を広げることができると思う。
- その後、実際のCMがどのようなになったのかが気になった。
- 地上波とインターネットと連動しているとのことで、地上波との違い、CSのオリジナル部分・特徴はどこかを知りたい。
- 企画自体は既視感があり、NHK「あまちゃん」の一場面を想像した。NHK朝ドラ、国民的ドラマのパロディのような番組を、深夜のCS放送で再生産していいのだろうかという感じも若干ある。ヘリウムガス事故のように、競争をあおり過激になっていくことで問題が起こらないようにしていただきたい。
- アイドル文化が多様化していることが見えてくればよい。
- 昔からあるような何週勝ち抜きという形式ではあるが、その場にいる100人が全てを見て選ぶというところが面白かった。素人レベルのグループを育てていくという、歌もダンスもうまくないグループもいるが、ファンが真面目に採点し、ファンが作っていくという典型的な番組で興味深かった。100名のファンだけで選ぶところに、公平性がなく、特定のグループに偏らないかという気がした。
- 客観的にみると、番組企画、登場するアイドルグループのパフォーマンス、それを評価することの、大きく3つに分かれると思う。企画自体に批判は出ることがなく、グループの能力差はいたしかたなく、批判できるものがあるとするば最後の投票部分であるかと。アイドルグループのやり方としては、このようなものではないかという感想。
- 審査員がディレクター、音楽関係者ではなく、ファン投票ということが目新しいところ。ファンに偏りがあっては投票結果にゆがみが出るので、年齢層・性別・地域など、100人をどのように集めたのか。今回のCMは、もともとコンセプトができあがっているのか、1位のアイドルに合わせてつくるのか。

〈番組担当より〉

○地上波は 1 分くらいのダイジェストで、自己紹介をカットしており、本当に好きな人は CS をみてくださいという内容。BS は全国でみることができ、個人の投票もあり、推しカメラとして 2 分間映像を出すという仕組みにしている。

○各ファンクラブより 20 名ずつ、1 位 10 点・2 位 8 点・3 位 5 点、SNS があるため公平性を期して真剣勝負。ファンとのコミュニケーション、SNS にファンと撮った写真を掲載することなどで、番組のプロモーション展開にもなる。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ

『レジェンド青木功 プロ生活 50 周年記念 SP 〜ゴルフ対決完全版〜』番組審議◆

番組概要：

「プロ通算 84 勝」「賞金王獲得 5 回」「全米オープン日本人史上最高 2 位」「アメリカツアー日本人初制覇」「日本人男子初の世界ゴルフ殿堂入り」…これは、プロゴルファー青木功がプロ生活で成し遂げてきた偉業だ。

青木功は、プロ生活 50 年間のほとんどをゴルフだけに捧げてきた。そこには自らの気持ちを抑え、やりたくても出来なかったこと、行けなかった場所があるはずだ。さらに、ゴルフに人生を捧げてきたからこそ、支えてくれた多くの人や迷惑をかけてしまった人などがいるはずだ。

そこで、プロ 50 周年記念企画だからこそ…青木功が“叶えたい 4 つのコト”を番組が実現。

地上波にて放送の青木功プロ 50 周年記念 SP『青木功 VS 石川遼 VS 丸山茂樹〜夢の 3 ショットゴルフ〜ガチ 5 番勝負』完全版の模様を「CS オリジナル版」として『CS テレ朝 ch2』にて放送。

青木功が叶えたいコト① “石川遼との真剣勝負！！”

青木功が叶えたいコト② “バルタスロール GC にもう一度行きたい！”

青木功が叶えたいコト③ “アーノルド・パーマーに会いたい！！”

青木功が叶えたいコト④ “ジャック・ニクラウスにもう一度会いたい@フロリダ！！”

<出演者>

青木功 石川遼 丸山茂樹 アーノルド・パーマー ジャック・ニクラウスほか

〈委員意見〉

○青木さんは変わった打ち方をするということを知ってはいたが、全てにおいてということが分かり驚いた。自分独自の何かを持たないと一流にはなれないということは、ゴルフ界だけではなく、一般の人生論として意味深かった。

○アーノルド・パーマーと会うことができて涙ぐむシーンは、劇的な感じがした。

○人間青木功を見ることができた。青木の涙は意味があり、よい番組を作ったなと思った。ゴルフを知らない人・みていない人に伝える、訴える何かがもう少しあるとよかったが、丸山、石川との世代越えの話は感心した。最近このような番組がなかったので、うれしかった。

○青木さんがリラックスしてテレビに出ていたことが印象的だった。いくつになっても好奇心を持って突き進む姿に学ぶべきものがあり、ためになる番組。

○お約束でやっているとは思いますが勝負については、乱暴なやり方ではなく別の方法を選択してほしかった。

○CSはバラエティに富んでいると思った。

○青木さんがいかに偉大な人であるかが分かり、面白かった。

○いろいろな要素がうまくからみあって、青木さんの人間性、功績、ゴルフの技術、ゴルフの楽しさ、世代を超えてなど、うまく盛り込まれていて、よい番組だと思った。

いろいろな分野に“レジェンド”がいっぱいいると思うので、そういう方を取り上げて定例化すると面白いのでは。

○地上波は終わりのほうだけ見たので、CSで最後までみることができてよかった。

番組の構成も非常にスムーズで分かりやすかったし、楽しかった。

○ロッカールーム、ショールームなど興味深かった。ゴルフをやっていない人でも楽しめる番組。

○罪のない番組、面白い番組。50周年記念、一芸に秀でた人という側面からみると、その部分が浮き彫りになっていなかったように思う。

○ゴルフの歴史、青木の自伝、週刊誌の連載を読んだが、50周年であれば、もっと歴史に突っ込んでほしかった。

○周辺取材をして、打法を変えたことなどを取り上げたら、もっと良かった。海外取材があり、青木の人間性が見えたことは良かった。

〈番組担当より〉

昨年春頃、青木功のプロ生活 50 周年に何かできないかということが始まり。これまでの功績を一人でも多くの方に伝えることができればと思った。そこで、地上（85 分）、BS（2 時間）、CS（2 時間）の 3 波一体の放送実現を目指した。ゴルフに全てをささげた人生、叶えられなかったこと、行けなかった場所へフォーカスをあてて、叶えたい 4 つのことをコンセプトに夢を実現させる番組になるようにした。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成27年3月13日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

平成27年5月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定です。

9. その他の参考事項

平成27年度、次回の放送番組審議会は9月に開催予定。

以 上